

新庁舎の災害対策

市民の安全・安心を支えるために



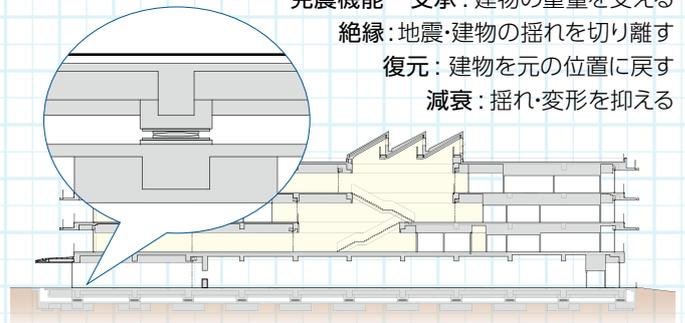
本庁舎屋上から見た新庁舎建設現場

基礎免震構造の工事が完了しました

現在、建設工事を進めている新庁舎の基礎工事が完了しました。新庁舎では、大地震が起きた後でも防災拠点として機能を維持し、迅速な災害対応ができるよう、免震構造を採用しています。ここでは、基礎の部分(右の断面図：吹き出し部分)に設置した2種類の「免震装置」(球面すべり支承、U型鋼製ダンパー)の概要や今後の工事予定などを紹介します。

◎庁舎建設課 ☎ 36-7959

免震機能… 支承：建物の重量を支える
絶縁：地震・建物の揺れを切り離す
復元：建物を元の位置に戻す
減衰：揺れ・変形を抑える



U型鋼製ダンパー

設置台数 / 10 台

機能 / 減衰機能

←機能や安全性を検査

U型の鋼材が繰り返し変形することで、地震エネルギーを吸収して揺れを低減します。球面すべり支承(右)と組み合わせることで、より効果的な免震機能が期待されます。



球面すべり支承^{ししょう}

設置台数 / 44 台

機能 / 支承・絶縁・復元・減衰機能

←等間隔に設置された装置

「スライダー」と呼ばれる鋼材が地震の揺れを建物から切り離し、振り子のように移動することで、地震エネルギーをゆっくりと吸収しながら建物を元の位置に戻します。

■ 建設工事スケジュール

年度	R3	R4	R5	R6
0期	付属建物一部解体			
1期	新庁舎・倉庫棟建設、旧庁舎解体			
2期				外構整備

■ 市民向けの建設現場見学会を開催

5月14日、新庁舎の建設現場見学会を開催しました。参加した市民は、建設事業に関する概要説明を受けた後、実際に建設現場を見学。免震装置について、職員や施工業者などに質問していました。参加者は「実際に現場を見ることで、行政・事業者・地域住民など、多くの人が関わって施設が造られていることを実感した」と話しました。

